

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2025 年

6 月

238号

◇まず感謝から始める
◇素直な心が幸せを招く
◇仏さまの声を正しく聞く

一雨千山潤



ホームページ

宗教法人 真生会

令和七年信仰目標

仏の智慧を身に付けよう!!

『自分の成長と人救いのために』

真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声かけの実践

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

～お知らせ～

行事法要のご案内

お盆先祖大法要

7月27日(日)10:00 総本山・岐阜教会(合同)

※於：総本山真生寺

7月13日(日)10:00 大阪教会

7月22日(火)10:00 名古屋教会

※只今、総本山・各教会において供養受付中

三十一回忌

教母さま胡蝶忌(読経供養) 7月31日(木)

※各教会の読経開始時間は日程表にてご確認ください

大阪教会 新築建て替え寄進 ～申込受付中～

申込期間：令和7年12月末まで

納入期限：令和8年3月末まで(分納可)

※詳しくは総本山・各教会にお尋ねください。

－こころの里山建設募金御礼－

皆様よりまごころのご芳志を頂きまして心より御礼申し上げます。真生寺の山々は、初夏を感じられる美しい新緑が見頃を迎えました。こころの里山建設募金は真生寺の自然豊かな景観を保ち、より良い里山づくりのために活用させて頂きます。



いつでも救援募金のお知らせとお願い

真生会では貧困で苦しむ世界の子供たちや医療の届かない子供たちに毎月継続支援をしています。また、頻発する自然災害で困られている人々に緊急援助をしています。「いつでも救援募金」に皆さまの温かいご支援ご協力をお待ちします。

毎月継続支援

☆ Unicef マンスリーサポート 《だれ一人取り残さない》

※世界の注目を浴びることのない国々の子供たちへの支援

☆ JapanHeart 《助かるはずの命を助かるはずだった命にしない》

※アジアで無償の医療活動を続け、医療の届かないところに医療を届ける

◆ミャンマー大地震緊急援助◆

2025年3月28日に発生したマグニチュード7.7の大地震による被災者に「WCRP（世界宗教者平和会議）国際ネットワーク」を通じて5月22日に¥. 200,000 真生会救援基金より支援しました。

募 金 方 法

◆「いつでも救援募金箱」

総本山・各教会に設置

◆宗教法人真生会 救援基金

- ・三菱UFJ銀行 岐阜支店
- ・普通口座 0133193

開祖さまのみ教え

開祖 田中 偉仁
た なか ひで ひと

《相手の立場に立つて》

難しく物事を考えるのは頭の悪い証拠である。
料理にしてもあつさりした塩味には、くどさが



なくスッキリ後味がよい。書道にしても簡単な縦棒横棒が大切であつて、画数の多い字は難しいように思えるが、実は縦棒と横棒の組み合わせである。人生には子供の問題、経済の問題等ずいぶん複雑極まりない事が私たち日常生活の周辺に渦巻き、この処置にある時は苦しみ、ある時は泣き、またある時は自分の生きがいすら無くする人がある。このような苦しみを乗り越えるものの考え方は、いかなることがあつても、すっきりさっぱりあつさりした心境を作らねばならぬ。日常生活に起きるすべての事件の解決方法は、自分の立場から考えたのでは完全ではない。常に相手の立場に立つて物事を考えることが、最善の方法である。

(1984年、真実に生きる49号より)

ご真教法話

会長 田中 庸仁たなか つねひと



◇まず感謝から始める

仏さまの目から見た世界は「我がこの土は安あん穩のんにして天人常に充滿せり。園林諸の堂閣、種々の宝をもつて莊嚴しょうごんし、宝樹花果多くして衆生の遊樂ゆうらくする所なり」

この世の中は安心で穩おだやかな場所であり、常に良い人たちで溢あふれており、自然も色々な建物や住まいも美しく立派で、人生の花が咲き幸せな実りがいっぱい、すべての人が自由に伸びくと楽しい生活をする場所なのです。

しかし、凡夫ぼんぷ（仏教を理解しない人）の目から見た世界は「我が浄土は毀やぶれざるに而しかも衆は焼け尽きて憂怖うふ諸々の苦悩、是の如かくき悉こころごとく充滿せりと見る」

つまり、本来仏さまの大生命に守られているこの世界は壊れていないのに、凡夫の眼には幸せが崩壊し苦しみの炎で焼け野原となり、憂いや恐怖など様々な悩みや苦しみが充満しているように見えるのです。

事実日々ニュースから伝えられる現実世界は、戦争や自然災害で毎日のように多くの尊い命が失われ、医学の発達した現代においても次々と新たな感染症などが流行し、難病に苦しむ人も数多く、経済苦や人間関係の苦が絶えない「苦の娑婆」であります。

どうしたら、天人が充満する安穩な仏土になるのでしょうか？

それは何事にもまず**無条件で感謝**をすることです。

朝起きたら「目が覚めてありがとうございます。今日も新しい生命、健康な体をありがとうございます」と宇宙の大生命（久遠の仏さま）に感謝の言葉から始めるのです。



感謝すべきことが起つたら感謝するのは当たり前のことです。どんな些細なことに「ありがとう」と感謝の言葉を発していれば本当に「ありがとう」と心から感謝したくなる幸せが現れてきます。これを法華経では「一念三千」と言つて一つの強い思いが自分の周りの現象を作り出すのです。すべては感謝の心が先、物質や現象は後なのです。これが宇宙の普遍の真理なのです。

不平不満や愚痴を言い、怒りや憎しみの思いを持つても何も良くなりません。無条件で理屈抜きで、今日一日も生かされている命に「ありがとう」という言葉を発することを心掛ければ、それが幸せになる第一歩なのです。

世の中がつまらない、仕事がつまらない、自分の立場がつまらない、運命がつまらないという人は、その考え方こそが自分の人生を自分でつまらなくしているのだと気付きましょう。

法華経は「ばつくよろく拔苦与樂の教え」と言つて、苦を抜き乗り越えてこそ本当の喜びと樂が与えられるのです。開祖さまは「煙突でも水道管でも排水管でも詰まらないからいいんだ。詰まったら大変だ」と解りやすく教えて下さり、困った問題や大きな苦難がやって来た時こそ「ますます勇氣が湧いてきた。どうやって

乗り越えて行こうかワクワクする」と常にプラス発想で問題に立ち向かわれました。

理屈や不平不満が多いと心が詰まり行動が遅れます。じっと立ち止まっている自分が人生を停滞させ、つまらなくしているのです。

人生は階段を一步一步登って行くのです。壁にぶつかっては一段上がり、また壁にぶつかっては一段登るのです。「壁に跳ね返されないよう、足踏みしてでも後退してはいけない」のです。

◇素直な心が幸せを招く

現実と同じでも、見る人によって幸せにも不幸にも見えるのです。

仏さまは私たち凡夫を教化して無上道（感謝と喜びの人生）を歩ませようと永遠の昔から永遠の未来にわたり、現象を通じて私たち凡夫に呼びかけておられるのです。



その声を聞こうと思つたら、「柔和質直」にゆうわしちじきでなければ聞こえないのです。

「諸の有ゆる功德を修し、柔和質直なる者は、即ち我が身ここにあつて法を説くとみる」

色々な施しの徳を積んでいる素直で正直な人は、何を見ても聞いても仏さまの声として聞くことができますのです。いつも仏さまに渴仰かつこうと恋慕れんぼの心を持つている人は、教えや目の前の現象に「嗚呼！、有り難い。仏さまが私を正しい道に導こうとして下さっているのだ」と思えるのです。

反対に「罪の衆生」と言つて自分は正直真面目のつもりでも、施しの少ない人は常に世の中が悪く見え、仏さまの存在が分からず教えが信じられないのです。ここに人生の満足度の大きな差があるのです。

◇仏さまの声を正しく聞く

今年は、米、国、トランプ大統領の関税問題で世界中が大騒ぎになり、日本国内では米不足と異常な米価高騰で今まさに令和の米騒動で大変な状況です。

これらの出来事も仏さまの計らいと見れば、乗り越える智慧と勇氣、希望の光が見えるのではないでしょうか。

大変とは「大きく変わる」ということです。

トランプ関税も長年アメリカにおんぶにだっこであった世界経済から脱却し、お互いがWIN・WINの対等な経済を目指す時が来たのではないでしょうか。

親のすねをかじり育ててもらっていた子供が成長し、親と同じ大人同志の關係に成長する時が来たと思えばお互いに建設的な交渉ができるのではないのでしょうか？

今回の米騒動のお陰で、私たち国民も主食である米の大切さ有り難さに気付き、農業政策も減反から増産へ舵を切るためJAや物流問題など一部の利権や抜本的構造改革をする大転換のチャンス到来です。

小泉農水大臣への賛否両論、対策の功罪も有ると思いますが、この非常時に誰が受けても大変な大役を受け、スピード感をもって大鉦を奮おおなたって大奮闘おおなたされている行動力と熱意を称え、協力することが政治家や国民の責任で



はないでしょうか。

どんな事でも後出しジャンケンのような批判なら知恵が無くても出来ます。努力してる人の良い所を見つけ、正しく応援する知恵を持ちましょう！

あるお宅の不思議な出来事です。

数年前に跡取り夫婦が意見の不一致で離婚し、お嫁さんが出て行ってしまったのです。子供はまだ学生で両親の間を行き来していましたが、子供たちも成長し結婚で親元を離れた頃にお嫁さんが病気をされ、頼る身内もなく嫁ぎ先に戻られたのです。ご両親は???どうなっているのと戸惑っておられますが、「これから先の息子さんの老後を考えれば有難いことですよ。不思議な流れですが仏さまの計らいでしょう」と申し上げました。

経典に「悲観ひかんを懐いだいて心遂ついに醒悟しやうこす」とあります。人間は悲しいことに直面して初めて「しまった」と目が醒さめるのです。そして、目が醒めただけではいけません。これからどう生きて行くのが正しいのか「悟らなければ運命は良くならない」のです。

仏さまの声に正しく耳を傾け、正しい実践を致しましょう。

先師の名言、名句



◇言中有響（ごんちゅうにひびきあり）

（開祖さま書の師、故平松紫雲書）

へきがんろく
碧巖録にある禅語。

人の言葉の中には、言外の妙意を持っている。

何気ない言葉、簡単な言葉であつても、それを発する人の知識や経験が含まれ、その重さを持って発せられている。

そのさり気ない言葉の奥深くをキチンと捉えられるか、どうか。また、表面的な言葉では表しきれない感情や表情を捉えられるようになることが大切であるという意味。

今月の運勢（7月）

（2025年7月7日～8月6日）

一 白水星

太陽の光を受けて運勢は強い。任されたことを最後まで責任を持ってやり通せば更に運勢が強くなる。一つ終わっても安心して手を抜かないこと。途中で止めると運氣は下る。

二 黒土星

平和な毎日にも常に危険は潜んでいる。避けられない衝突もあるが、経験未熟な者が勢いだけで盲進してはいけない。智慧も人望もある長老の助言を仰げば、戦わずして勝つこともできる。

三 碧木星

陽気が穏やかに漂い溢

れ、春の喜びと楽しみに満ちているが、調子に乗り過ぎて油断してはならない。小さな成功に満足せず、優れたリーダーの下で大きな成功を目指すこと。

四 緑木星

やれば成功、勝負にも強い。機が熟し好機到来。富が増え、何をするにも勢いがあり願う事は通る。富を独占せず皆で分かち合えば更に益が増す。過ちがあれば雷鳴の如く勇敢に切り替えること。

五 黄土星

運氣は最高潮を迎えている。行動範囲を大きく広げ人脈も広げる

チャンス到来。何事にも積極的に行動しよう。誰にでも優しく接し、親切な言動を心掛けること。

六 白金星

力は充実し物事を中心にいますが、行動するよりも周囲の状況をよく把握し、じっくり考える時です。自分のことを周囲から見られていることを自覚し、言動には注意すること。

七 赤金星

物事を完成させるための決断の時。決行する時は弓から矢が放たれるような一瞬の鮮やかさが必要。但し独断先行は危うさを招く。周

到な準備と仲間によく説明と根回しをして行動すること。

八 白土星

思わぬ損失もあるが、心から納得して少しも動じなければ、災い転じて福となる。損はしても気持ちを变えずに取り組めば最後は必ず吉となる。何事にも誠意があれば安心。

九 紫火星

心ならずも失意の旅に出る時。常住の場所を離れ不安と危険が取り巻く誰も助けてくれないが、太陽のような明るさと山のようにどっしりと構えた冷静さがあれば道は開く。

「まごころ誌代」御礼

出田 梓	平口 富士	山本季美衣	田中花音	豊田真悠子
坪井祥子	大西啓依子	佐藤百々枝	亀井善広	田中章輝等
滝山恵依子	樋口恵美子	佐藤光洋	亀井由美子	松尾定洋
坂本育身	樋口 容子	伊東 晃	熊田啓予	多田佳央
小俣丈子	片桐淳子	安田初子	堀部恭利	宮田雄貴
荒木敬依子	宮島りえ	木村正美	堀部祐美衣	滝本光夫
大下裕子	細谷早予子	多田敏春	早野桂子	亀井善二
三村千佳	谷口祐晟	加藤祐記子	高橋身衣	福元正子
村上視佑記	谷口祐子	早野起世	足立和美	岸本周夫
堀田純子	土川順寛	田中庸仁	飯田昌子	岸本昌子
永田雅子	土川恭代	田中佑季子	飯田修五	京川春男
小村友子	土川康二	田中祥陽	大橋千枝子	鈴木正巳
笹原トミ子	土川廣美	田中理夏子	鈴木快法	東森敦巳
笹原正子	横山知津子	田中宏明	豊田直正	山田佳延

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。
紙面をもって感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の
宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

しあわせ眼鏡

人生に
リハールはない。
常にぶっつけ本番。
だから、
いつも全力投球！
完全燃焼。

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします